



波紋

発行所 教育活動総合サポートセンター
〒213-0033 川崎市高津区下作延 5-11-8
TEL 044-877-0553 FAX 044-877-0980
E-mail support0731@luck.ocn.ne.jp
URC <http://www16.ocn.ne.jp/~srmi/>

ふれあい宿泊体験活動



5月12日(土)～13日(土)
今年度第1回めの「ふれあい宿泊体験活動」が川崎市青少年の家で行われた。今回は、中・高校生を対象で、中学生8人、高校生4人が参加した。久しぶりに会う仲間、最初から盛り上がった。



夕食のあとプレイホールで、ビーチボールを使ってバレーボールのゲームを行い楽しんだ。一汗かいたあと風呂にはいり、さっぱりしたところで、中高生の交流として「先輩と語ろう」と題して、高校生から近況を話してもらい、中学生が質問をするなど、夜遅くまで活発な話し合いが行われた。



2日めは、栽培活動としてサツマイモの苗を植え、稲の苗を植える、田植えを体験した。秋の収穫を今から楽しみにしており、再会を約していた。



昼は、みんなで「焼きそば」づくりに挑戦した。自分たちの手でつくった焼きそばの味は格別だった。大変楽しかったとの感想だった。

年間ふれあい活動の計画

- 第2回 7月7日(土) 日帰り 費用500円
対象 小学生・中学生 10:00～
 - 第3回 9月14日(土) 1泊2 費用2,000円
対象 小学生・中学生 17:00～
 - 第4回 11月9日(土) 1泊2日 費用2,000円
対象 小学生・中学生 17:00～
 - 第5回 2月2日(土) 日帰り 費用500円
対象 小学生・中学生・高校生 10:00～
- ※場所はいずれも「川崎市青少年の家」です。ふるってご参加ください。



保護者の意見交換会

平成24年6月23日（土）宮の下事務所において今年度第1回めの「保護者意見交換会」が行われ。保護者10人・サポートセンター職員6人が参加して、大変熱心な話し合いで、3時間を超す実りのある話し合いで、「参加者も子育てで同じように悩んでいる人たちの気持ちを聞くことができ大変参考になり参加してよかったとの意見があった。



第1回サポーター研修



今年度第1回めの「特別支援・教育活動サポーター研修会」を平成24年6月19日（火）午後5時30分より教育会館で行った。全体会のあと5分科会に分かれ、各サポーターが抱えている課題を出し合い熱心な協議が行われた。



7月行事予定

日	曜	主な行事
1	日	市制記念日 エコチャレンジクラブ② (青少年の家)
2	月	市民参加作品展終了(大山街道)
3	火	シニア卓球クラブ(青少年の家) 第2回運営委員会(南野川)
4	水	カリキュラム委員会
5	木	KYWC(青少年の家) お花・クッキングスクール(旭町)
7	土	プール開始(青少年の家) ふれあい体験活動(青少年の家)
8	日	第1回企画展(大山街道)
9	月	中原区保護者ミーティング
10	火	調理実習(南野川) 読み聞かせ(旭町) シニア卓球クラブ(青少年の家)
13	金	子育てサロン(南野川) 役員会(教育会館)
14	土	輝け☆明日の先生の会(第5回)
17	火	シニア卓球クラブ(青少年の家) おはなし会(青少年の家) クッキングスクール(旭町)
18	水	学習・相談打合せ会(宮の下事務所) 探検クラブ(大山街道ふるさと館)
20	金	第2回スーパーバイズ(旭町)
23	月	読み聞かせ(旭町)
25	水	KYWC(青少年の家)
27	金	いっしょにあそぼう(南野川) 事務局会(宮ノ下事務所)
28	土	
29	日	
30	月	
29	火	シニア卓球クラブ(青少年の家)

編集後記

生活保護世帯の子どもが、再び生活保護を受給するといった「貧困の連鎖」が大きな社会問題になっている。厚生労働省が貧困の連鎖の防止を図る予算要求をした。

最近、サポートセンターに来所するケースの中にも、児童相談所や福祉事務所等との連携をしながら指導している子どもが増えてきている。サポートセンターの本来のねらいである「子たちに力」をつけるためにも力をいれて取り組まなければならない課題である。